S A M E G A W A

さめがわ

[広報] 鮫川村広報誌

No. 597
平成16年1月1日発行
JANUARY 2004
1

特集1

[新春対談] 大樂村長×阿久津議長×奥貫教育長

地域づくりは、夢づくり。



■特集2
ダイジェスト2003 村の1年を振り返る。

■行政情報
平成14年度決算報告
村職員などの給与・村の定員管理適正化計画

[表紙写真]
2004年も鮫川らしく

新年あけましておめでとうございます。２００４年の年頭に当たり、大樂村長、阿久津議長、奥貫教育長の３人に２００３年を振り返っていただくとともに、これからの村づくりや夢を語っていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。　（司会あいさつ）



地域づくりは、夢づくり。

［新春対談］　大樂村長×阿久津議長×奥貫教育長

特集１



大樂　勝弘 村長
Katsuhiro Dairaku



阿久津清次 村議会議長
Seiji Akutsu



奥貫　　洋 村教育長
Hiroshi Okunuki

変化が多かった２００３年

――二〇〇三年を振り返ってみますと、村にとっては多難な時期でもあったように思いますが、村長さんにおいては五月に議長就任、そして九月には村長就任ということで、どんな一年だったでしょうか。

大樂村長（以下、村長）　私自身も変化が多くて忙しい一年でした。議長になることも、まして村長になることも考えていませんでしたから。

　議長になって、全国の議長大会に参加したときに素晴らしいお話を聞いてきたんです。国では三位一体の改革とか財源の移譲とか言っているが、そんな難しいことを言ってもしょうがない。農家の皆さんが一生懸命汗を流して、それで生活を維持できるような世の中をつくるのが政治家なのだと。もう少し農家のため、国民のための政治ができないのかと訴える人がいたんです。そんな世の中がいいなとつくづく思って帰ってきましたね。

　今までなかった体験をさせてもらって、自分の人生では最高の年だったと思えるような一年でした。ただ、冷害による農作物の被害を考えると、鮫川村にとっても農家にとっても容易でない年でしたね。

――議長さんはどうでしたか。

阿久津議長（以下、議長）　四月の選挙、そして合併問題。合併問題については住民投票で七割の反対が出て、そして、村の政治がこんなに大きく変わるとは予測もできなかったことですね。

　私自身としては、こういう責任のある立場で議会人としての仕事をすることになるとは夢にも思っていませんでした。めまぐるしい一年だったというのが実感ですね。

――教育長さんは、教職を長年務められて退職され、十月に突然、鮫川村の教育長に就任されたわけですが。

奥貫教育長（以下、教育長）　三月までは肩に重荷を背負った生活、四月一日から全部裃（かみしも）を脱いで生活してきまして、今回、村長さんから強い要請をいただいたわけです。

　鮫川村は以前に勤務したこともありますし、村長さんをはじめ、皆様方の温かい気持ちに支えられて、毎日楽しく勤務させていただいています。

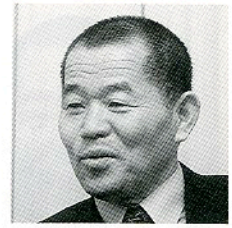
――それぞれに人生の転機があったようですね。

地場産業の振興と高齢者の健康づくり

――二〇〇四年のスタートに当たり、これからの村づくりについてお話をいただきたいと思います。村長さんは、子どもと高齢者を大切にする施策、また、「まめで達者な村づくり」を考えているようですが。

村長　全国で一番医者にかかっていないのは長野県だそうですね。夫婦で長生きしているそうです。夫婦そろって仲良く食事をして、助け合って、一生懸命汗をかいて働くことが一番なんでしょうね。

　鮫川村は農家が多いのだから、物を作る喜びは知っていると思うんです。そして、農作物をかわいがる愛情を持っていますよね。少しばかりの野菜なら買ったほうが安上がりかもしれない。だけど、自分で作った野菜は一味違う。その野菜を子どもたちに送ってやるというのも、送料を考えれば買ったほうが安い。だけどそういう問題じゃないん



「まめで達者な村づくり」に、鮫川村の将来を託したいと思っています。（大樂）

ですね。それが人だと思うんです。それが村づくりだと思うんです。だから、物を作る喜びを生きがいにしてもらい、収穫の喜びを味わいながら、それが収入につながればいいですね。だから私は「まめで達者な村づくり」、つまり豆作りがそれだと思ったわけです。

――村長さんの高齢者を大切にする施策というのは、昔のように施設を建てたり、お金を与えるということではなく、健康で笑って暮らせることが大事だということですね。

村長　高齢になると骨粗しょう症になりやすくなりますね。豆にはカルシウムも入っているし、カリウムも入っている。もちろんタンパク質も。豆は体にいいんです。豆料理は大事な食文化だと思いますよ。

　私は、地場産業の振興と高齢者の健康づくりを結びつけたいと思っています。しかし、言うは易し、行うは難しで、豆はいくら頑張って作っても一反歩二～三万ぐらいにしかならない。それを十万円ぐらいに価値を上げたいですね。豆に鮫川村の将来を託したいと思うんです。

議長　商工会などと一体となって付加価値をどう上げていくかが大事ですよ。まずは加工技術を勉強することですね。

村長　豆を作るのは農家。加工するのは商業の人たち、販売はやはり商工会でしょうね。村の基幹産業は農業だといっても、同時に商業が活気を帯びないと村の繁栄はないと思いますよ。私は、豆に夢をかけたいと思っています。

議長　豆の栽培は高齢者もできる仕事ですからね。

　それから、直売所などがあれば高齢者も意欲がわいてくると思います。プロが農協や市場へ出荷するような作物はなかなかできない。でも、見た目ではないんですよ。直売所では手塩にかけて育てた地元の野菜が売れるんですよね。子どもたちに食べさせるものも、そういうことを中心に考えたほうがいいですね。地元で採れたものを一品でも多く給食に取り入れて。

教育長　豆を作るとか、カボチャを作るとか、農家の人は専門ですからできると思うんですね。しかし、付加価値を考えて作る人は少ないのかなと思うんです。カボチャとして売れば二～三百円でしかないわけですが、例えばスープとして販売すれば付加価値がつきますからね。

村長　そういう加工技術をどうするか。それが村の責任だと思っています。鮫川村の将来は加工技術にかかっていますね。



雇用対策はもちろん、稲作と畜産を中心とした農業の振興が大事です。（阿久津）

子どもたちに現状を破る力を

――議長さんは今後の村づくりをどうお考えですか。

議長　景気が悪い中で、雇用対策はもちろん、稲作と畜産を中心とした農業の振興が大事かなと思いますね。

　教育の面では、鮫川村の自然環境を生かした教育を考えていったほうがいいと思います。学力の高さだけを基準とした教育ではなく、地域に合った教育で健康な子どもを育てるということですね。

　また、高齢者については働く環境を提供してやれば、活力を持たせることができると思いますから、そういう面を支援していきたいですね。

――二〇〇三年は小学校が統合して一年目でしたが、教育長さんはこれからの教育をどうお考えですか。

教育長　私は、現状を破る力

が一番大事かなと思います。それは、単なる知識だけではなく、比較したり、検討したり、何かを関連づけたり、そういう広い意味での学ぶ力です。そういう点で学校を広く眺めると、勉強の大事さは知っているが、そこに面白味がわかないというのが全国的な傾向なんですね。これが、やがて成長したときに村を変える力になるかというと、ちょっと難しいと思います。

子どもたちに課題を与え、少しでもできたら「よく頑張ったな」とほめる。それが次の意欲につながるような学校、これは幼稚園も同じで、小学校と中学校の連携も大切です。また、高校に入ればいいというのではなく、高校で何を勉強したいのか、こういうことを勉強したいから大学に入るんだという目的と意欲を持った子どもたちの育成が必要だと思います。これは、私が就任早々、校長先生方とお話をしたことで、少しでも前進できるようにしたいですね。

村長　目標意識を持たせることは大事だと思いますね。私は、村の子どもたちのために役に立つこと、机に座っただけで知識や教養が高まるような、そんな環境づくりに協力したいと思っています。

こんな時代だからこそ、夢と希望を持って

――最後に、それぞれの夢をお聞かせください。

村長　本当は働く場所が欲しいんですけどね。こんな時代ですから工場誘致は難しいと思うんです。ですから、道路はきちんと整備して通勤・通学が苦にならないようにしたいですね。真冬でも夏タイヤで走られるような道路を作ることも一つの夢ですね。

水資源の確保も図りたいですね。村で一番使っているのは大清水の水ですね。ですから、そこに落葉樹を植えたいという構想は持っているんです。ブナ林をつくって、水資源地ということで大事に手を加えながら守っていきたい。これも私の大きな夢ですね。



これからの教育は、目的と意欲を持った子どもの育成が必要です。（奥貫）

地域づくりというのは「夢づくり」だと思うんです。こんな時代だからこそ、夢と希望を持つことが大切ですね。

――議長さんはどうでしょう。

議長　夢はいっぱいありますね。その中でも、「やっぱり鮫川村でなければ」と思える村、元気に長生きできる村にしたい。それが一つの夢ですね。

――教育長さんはどんな夢がありますか。

教育長　鮫川村を「鮫川高原」ぐらいに広く呼んで、常磐自動車道と東北自動車道を結んだら本当に素晴らしい所ではないかなと思うんです。福島県では一番南の方ですが、関東から見れば玄関口なんですよね。ですから、水と空気、人情、作物などと高速道路がうまく結び付けばいいなあと思いますね。そういうものを通して、子どもたちが自分の住んでいる所に誇りを感じることができるよう、新年度以降、夢をどんどん膨らませていきたいなあと思います。

――村民の皆さんがいろんな分野でかかわり合って、それぞれの夢が実現するといいですね。本日はありがとうございました。今後のご活躍を期待しています。



これからの村づくりやそれぞれの夢を語った新春対談

7

8日 鮫川村が棚倉町・塙町と合併することの賛否を問う住民投票告示

13日 鮫川村が棚倉町・塙町と合併することの賛否を問う住民投票日（開票の結果、鮫川村では「賛成」が28.95％、「反対」が69.69％。鮫川村と塙町で反対多数となる）



住民投票の開票作業

16日 第13回棚倉町・塙町・鮫川村合併協議会が棚倉町で開催され、住民投票の結果を受けて協議会の解散が決定される

16日 芳賀村長が大樂議長に退職申出書（辞職願）を提出

8

5日 芳賀村長退任式（役場前）

19日 村農林課内に「鮫川村農作物等異常気象対策本部」を設置。同本部の設置は大冷害となった平成５年（1993）以来

26日 芳賀村長辞職に伴う鮫川村長選挙告示（現職の村議会議長・大樂勝弘氏が立候補届け出。ほかに届け出がなく無投票当選となる）

9

1日 大樂勝弘新村長初登庁および就任式（役場前および正庁）。任期は平成15年８月31日から平成19年８月30日まで



大樂村長初登庁

9日 鮫川村議会臨時会が開かれ、新しい議長に阿久津清次氏、副議長に湯坐好郎氏が就任

12日 交通安全全国キャラバン隊が来村。内閣官房長官からのメッセージが大樂村長に伝達される

15日 平成15年度鮫川村敬老会（満69歳以上の1,040人を招待。農業者トレーニングセンター）

19日 鮫川村戦没者追悼式（遺族・来賓など約130人が出席。村公民館）

28日 平成15年度県南地方総合防災訓練が本村を会場に開催（総勢1,000人以上が参加。青少年広場ほか）



県南地方総合防災訓練

28日 平成15年度鮫川村消防団秋季検閲（防災訓練終了後。青少年広場）

10

1日 村教育委員会臨時会が開かれ、新しい教育長に奥貫洋氏（棚倉町）が就任。任期は平成17年９月30日まで

19日 第16回高原の鮫川うまいもの祭り（約3,500人が来場。鹿角平観光牧場）



高原の鮫川うまいもの祭り

11

1日 新しい村助役に白坂利幸氏が就任。任期は平成19年10月31日まで

1日 第56回鮫川村文化祭集中行事（～２日。農業者トレーニングセンターほか）

15日 鈴木公義氏（元村議会議員・西山字馬場）勲六等瑞宝章受章祝賀会（約160人が出席。村公民館）

16日 第15回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）参加（総合56位、村の部11位と健闘）

22日 第８回鮫川村少年主張大会（９人が出場。最優秀賞に鮫川中３年の矢吹さおりさん。村公民館）

12

7日 第14回鮫川村民駅伝競走大会（東石チームが６年連続８回目の優勝）

31日 2003年の大みそか。2004年へカウントダウン

2003 ダイジェスト

２００３年―。皆さんにとってどんな年でしたか。村では、保健センターの完成や県南地方総合防災訓練の開催、大樂村政のスタートなど、さまざまな出来事がありました。さて、新しい年２００４年。皆さんにとって素晴らしい１年になることを願って、２００３年の主な出来事を振り返ってみます。

村の１年を振り返る。

1

1日 平成15年（2003）の幕開け
4日 平成15年鮫川村消防団出初め式（村公民館）
12日 第55回鮫川村成人式（新成人63人が出席。村公民館）
26日 第17回東京鮫川会総会（会員・村関係者など約80人が出席。東京都・新宿住友ビル）

2

2日 第４回鮫川村親善インディアカ大会（男女混成の部で西山ほっと、ファミリーの部で戸村ファミリーが優勝。農業者トレーニングセンター）

3

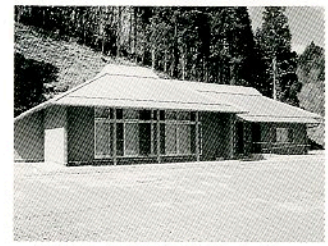
2日 平成14年度鮫川村納税表彰式（区長・組長など約200人が出席。村公民館）
9日 鮫川村体育協会文部科学大臣表彰受賞祝賀会（協会関係者・来賓など約90人が出席。村公民館）
13日 鮫川中学校卒業証書授与式
18日 役場庁舎・保健センター落成式（保健センター）



保健センターのテープカット

19日 鮫川幼稚園卒園式
20日 各小学校で卒業証書授与式
20日 小学校統合に伴い、西野小・西山小・富田小で閉校記念式典を開催（各小学校体育館）
23日 渡瀬小で閉校記念式典を開催（渡瀬小体育館）
28日 保育所修了式（鮫川・渡瀬）

30日 女性若者等活動促進施設「中の沢集落センター」落成式。地元住民らが完成を祝う



完成した中の沢集落センター

4

4日 保育所入所式（鮫川・渡瀬）
7日 小・中学校入学式（鮫川・西野・西山・富田・渡瀬の５小学校が統合後、初めての入学式）
22日 鮫川村議会議員一般選挙及び鮫川村長選挙告示（両選挙とも定数を超えないため無投票となる）
28日 鮫川村議会議員一般選挙及び鮫川村長選挙当選証書付与式（役場正庁）
30日 鮫川村長選挙で無投票当選を果たした芳賀文雄氏が５期目の初登庁

5

6日 鮫川村議会臨時会が開かれ、議長に大樂勝弘氏、副議長に阿久津清次氏が就任
10日 東京鮫川会ふるさと探訪ツアー（～11日。ほっとはうす・さめがわ ほか）

6

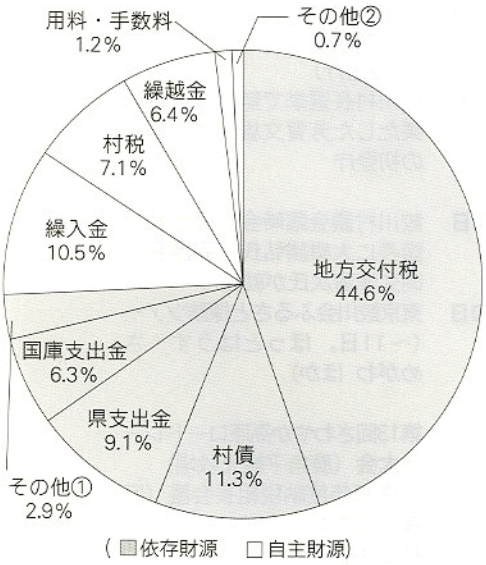
1日 第13回さわやか高原ロードレース大会（鹿角平観光牧場）
15日 平成15年度納税組長会議（区長・組長など約200人が出席。村公民館）
29日 第58回健康づくり夏季球技大会（農業者トレーニングセンター・青少年広場ほか）

平成14年度決算報告
お知らせします
村の家計簿

全会計合わせて53億円を支出

■一般会計決算

一般会計は、歳入(収入)総額38億7,062万円、歳出(支出)総額38億1,660万円で、歳入歳出差引額が5,402万円となりました。前年度と比較すると、歳入は国から交付される地方交付税の減額などにより586万円(0.2％)の減少。歳出は役場庁舎や保健センターの建設などにより1億8,818万円の増加となりました。



歳入

依存財源(74.1％)

		対前年度比
地方交付税	17億2,566万円	－8.3％
村債	4億3,620万円	＋34.8％
県支出金	3億5,067万円	－14.8％
国庫支出金	2億4,273万円	＋76.3％
その他①	1億1,182万円	－13.2％

その他①＝地方譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

自主財源(25.9％)

		対前年度比
繰入金	4億0,573万円	－32.9％
村税	2億7,654万円	－2.0％
繰越金	2億4,807万円	＋880.9％
使用料・手数料	4,509万円	－3.9％
その他②	2,811万円	－15.3％

その他②＝分担金・負担金、財産収入、寄付金、諸収入

歳入総額　38億7,062万円

村振興計画に基づく 村のお金の使いみち

■豊かな暮らしの生活基盤を整備するむらづくり



定住促進のため、引き続き村営住宅の建設を行いました。
・見渡団地（２棟２戸）　6,609万円

■快適で安全な生活環境づくりを進めるむらづくり

生活に欠くことができない水を安定的に供給できる給水施設（水道）を整備し、生活環境の改善を図りました。
・官沢地区　7,183万円（事業継続中）

情報無線連絡施設および戸別受信機を更新し、情報伝達の迅速化を図りました。
・情報無線連絡施設整備　1,900万円
・防災行政無線戸別受信機設置　3,013万円

■新しい文化の創造と人材の育成を進めるむらづくり

スクールバスの確実な運行と安全確保のため車両を新しくしました。
・１台（西山線）　1,071万円

■健康と福祉のむらづくり



住民の健康を守るための保健サービスの拠点施設として、保健センターを建設しました。
・保健センター建設事業（備品含む）　2億5,927万円

■新しい時代に対応する活力ある産業のむらづくり

耕作放棄地の増加などにより、農業生産力の低下や国土保全に悪影響を及ぼしていることから、対象農地に交付金を支払い、農業基盤の維持に努めました。
・中山間地域等直接支払交付金　1億2,290万円

■新しいむらづくりを支える行財政づくり



住民サービスの向上と事務の効率化を図るため、役場庁舎を改築しました。
・役場庁舎建設事業　3億　576万円

特別会計の決算状況

単位：万円

会計別		歳入	歳出	差引
国民健康保険	事業勘定	4億4,176	4億　901	3,275
	直診勘定	1億6,285	1億5,793	492
老人保健		5億4,007	5億2,990	1,017
簡易水道事業		1億3,449	1億3,304	145
村営バス事業		725	653	72
集落排水事業		3,549	3,436	113
介護保険		2億2,977	2億2,029	948
計		15億5,168	14億9,106	6,062

まだまだあります。
村のお金の使いみち

（　）は村民１人当たりに使われたお金
平成15年３月31日現在の人口4,634人で計算

■議会費（15,130円）	
議会運営のために	7,011万円
■総務費（187,735円）	
生活路線バス運行のために	780万円
福島県議会議員選挙準備のために	117万円
住民基本台帳ネットワークシステムのために	286万円
■民生費（101,628円）	
ひだまり荘運営のために	2,415万円
さぎり荘運営のために	562万円
保育所運営のために	1億5,200万円
介護保険事業計画策定のために	182万円
高齢者筋力づくり教室のために	105万円
■衛生費（117,560円）	
住民健診のために(人間ドック含む)	1,748万円
乳幼児医療費助成のために	713万円
合併処理浄化槽設置のために(37基)	2,810万円
東白衛生組合運営費負担金として	8,076万円
東白斎苑運営費負担金として	247万円
■労働費（38円）	
事業所の福利厚生などのために	15万円
■農林水産業費（129,077円）	
女性若者等活動促進施設(中の沢集落センター)建設のために	2,700万円
農道整備のために(中沢草木線、世々麦丸谷地線、権現渡線、名下下野町線)	1億1,312万円
県営農道整備事業負担金として(東白川広域農道、東野中部農免農道)	4,493万円
ほっとはうす・さめがわ運営のために	2,147万円
畜産環境保全施設(堆肥舎)整備のために(４組合)	828万円
農業用排水路施設整備のために	1,327万円
水田作付条件整備事業(暗渠排水)補助金として(受益面積3.6ha、受益戸数15戸)	450万円
松くい虫防除のために	537万円
■商工費（8,840円）	
高原の鮫川うまいもの祭りのために	300万円
朝日山登山道整備のために	302万円
■土木費（30,926円）	
村道舗装のために(大横場線、葉貫姿平線)	386万円
道路維持補修のために	889万円
■消防費（33,211円）	
小型動力ポンプ購入のために(2台)	298万円
消防ポンプ車庫建築(関口)のために	186万円
白河地方広域市町村圏整備組合常備消防負担金として	8,582万円
■教育費（79,115円）	
鮫川小普通教室増設のために	3,675万円
鮫川小スクールバス通路整備のために	304万円
中学校コンピュータ室エアコン設置のために	131万円
幼稚園運営のために	2,797万円
図書館エアコン設置のために	225万円
■災害復旧費（10,590円）	
災害復旧のために（13年災…道路１カ所、14年災…河川３ヵ所、農地等17カ所）	4,907万円
■公債費（109,757円）	
村の借入金返済のために	5億　862万円

村の平成十四年度（十四年四月～十五年三月）の決算がまとまり、村議会で認定されました。村では、年々厳しさを増す財政状況の中、限りある財源を有効に生かしながら、第二次鮫川村振興計画に基づき、「住んでみたいむら、住みつづけたいむらの創造」を基本理念に、「豊かな暮らしの生活基盤を整備するむらづくり」「快適で安全な生活環境づくりを進めるむらづくり」「新しい文化の創造と人材の育成を進めるむらづくり」「健康と福祉のむらづくり」「新しい時代に対応する活力ある産業のむらづくり」「新しいむらづくりを支える行財政づくり」の六つの基本施策を展開するための事業を進めています。これらの基本施策を盛り込んだ平成十四年度の歳出（支出）決算額は、一般会計が三十八億千六百六十万円、国民健康保険などの特別会計が十四億九千百六万円で、全会計合わせて五十三億七百六十六万円となりました。今月は、平成十四年度決算のあらましについてお知らせします。

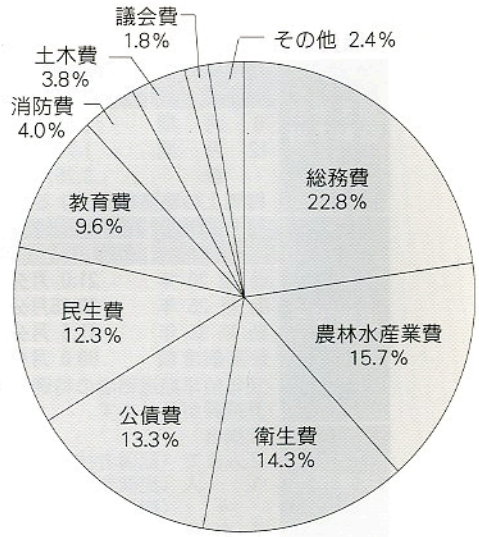


高齢者筋力づくり教室

歳出

	対前年度比	
総務費	8億6,997万円	+17.0%
農林水産業費	5億9,814万円	−20.0%
衛生費	5億4,477万円	+78.4%
公債費	5億　862万円	− 3.3%
民生費	4億7,094万円	+ 0.4%
教育費	3億6,662万円	+15.0%
消防費	1億5,390万円	+15.8%
土木費	1億4,331万円	−20.0%
議会費	7,011万円	− 2.6%
その他	9,022万円	−32.5%

その他＝労働費、商工費、災害復旧費



歳出総額　38億1,660万円

公表します。

村職員などの給与/村の定員管理適正化計画

1 村職員などの給与

村職員の給与は、人事院および県人事委員会の勧告に準じ、村議会で予算や給与条件などの審議を通じ明らかにされていますが、村民の皆さんにより広く知っていただくため、今年度の給与などの実態について概要をお知らせします。

職員の平均給料月額および平均年齢

区　分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	333,400円	41歳 5月
技能労務職	325,600円	47歳11月

※平成15年４月１日現在

職員の初任給

区　分		初任給	採用２年経過日給料月額
一般行政職	大学卒	171,500円	185,600円
	高校卒	139,500円	149,200円
技能職	高校卒	152,200円	165,500円

※平成15年４月１日現在

職員の経験年齢別・学歴別平均給料月額

区　分		経験年数		
		3～5年	10～15年	20～25年
一般行政職	大学卒	—	332,200円	375,500円
	高校卒	164,200円	248,700円	346,900円
技能職		—	—	296,900円

※１．平成15年４月１日現在
２．経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は採用後の年数をいいます。

一般行政職の級別職員数

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
標準的な職務内容	主事	主事	主任主事	係長主査	課長補佐主任主査	主幹課長	課長	参事	
職員数(人)	3	5	8	8	16	8	9	2	59
構成比(%)	5.1	8.4	13.6	13.6	27.1	13.6	15.2	3.4	100

※平成15年４月１日現在

職員手当

期末手当・勤勉手当

区　分	支給割合	
	期末手当	勤勉手当
6　月　期	1.55月分	0.70月分
12　月　期	1.70月分	0.70月分
計	3.25月分	1.40月分

職制上の職務級等による加算措置があります。

退職手当

区　分	支給率	
	自己都合	勧奨・定年
勤続20年	21.0 月分	28.875 月分
勤続25年	33.75月分	44.55　月分
勤続35年	47.5 月分	62.7　月分
最高限度額	60.0 月分	62.7　月分

定年前早期退職者の特例措置として２％～20％の加算措置があります。

扶養手当

配偶者	14,000円
２人まで（配偶者扶養）	6,000円
１　人（配偶者非扶養）	6,500円
〃　（配偶者なし）	11,000円
その他	5,000円

16歳～22歳までの子１人につき　5,000円を加算

住居手当

借家	自宅
100円～27,000円	3,500円

通勤手当

交通機関利用者	交通用具使用者
運賃相当額	2,200円～32,400円

人件費（平成14年度決算統計）

住民基本台帳人口	歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費率（B／A）
(15.3.31現在) 4,634人	千円 3,821,605	千円 54,750	千円 791,618	% 20.7

※人件費には職員の給与のほか、共済負担金、退職手当負担金および常勤・非常勤の特別職報酬なども含まれます。

職員給与費（平成15年度一般会計予算）

職員数（A）	給与費				1人当たり給与費（B／A）
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計（B）	
	千円	千円	千円	千円	千円
82人	331,106	55,082	144,649	530,837	6,474

※１．職員手当には退職手当は含みません。
２．給与費は当初予算に計上された額です。

■部門別職員数

区分		職員数 平成14年	職員数 平成15年	対前年増減数	主な増減理由
一般行政部門	議会	1	1		
	総務	18	18		
	税務	3	3		
	民生	18	18		
	衛生	6	6		
	農林水産	13	13		
	商工	1	1		
	土木	5	5		
	小計	65	65		
特別行政部門	教育	15	14	△1	給食センター調理業務一部委託等による減
	小計	15	14	△1	
一般会計		80	79	△1	
公営企業	病院	3	3		
	水道	2	2		
	下水道	1	1		
	その他	5	5		
	小計	11	11		
合計		91	90	△1	

※平成15年４月１日現在

■特別職の報酬など

区分		給料・報酬 月額	期末手当 6月期	期末手当 12月期	期末手当 計
給料	村長	755,000円	月分	月分	月分
	助役	602,000円			
	収入役	577,000円	1.70	1.80	3.50
	教育長	569,000円			
報酬	議長	312,000円			
	副議長	235,000円	1.70	1.80	3.50
	議員	215,000円			

※平成16年１月から18年３月まで、上記の月額から村長20%、助役・収入役10%、教育長５%の減額を実施。議長等報酬については、平成15年４月から16年３月まで上記の月額の５%減額を実施しています。

2 定員管理適正化計画

本村における職員の定数は「鮫川村職員定数条例」により定められていますが、行政需要や将来の動向に対応した合理的な職員配置を進めるため、「定員管理適正化計画」を策定しています。

①定員適正化目標…平成十二年度から十六年度までの「定員管理適正化計画」を策定。五年間で三%減を目標とする。

②定員適正化手法の概要…行政組織の見直し、調理業務の委託などにより人員削減を図る。

③定員適正化計画の概要…【表1】のとおりです。

④定員適正化計画の年次別進ちょく状況…【表2】のとおりです。

【表１】定員適正化計画の概要（各年４月１日現在）

部門	区分	11年	12年	13年	14年	15年	16年	計
一般行政	減員		1	1	1			3
	増員			1				1
	差引		△1		△1			△2
	職員数	68	67	67	66	66	66	66
特別行政	減員		1		1			2
	増員		1					1
	差引				△1			△1
	職員数	19	19	19	18	18	18	18

【表２】定員適正化計画の年次別進ちょく状況（各年４月１日現在）

部門	区分		11年 計画前年	12年 1年目	13年 2年目	14年 3年目	15年 4年目	12~15年 計	15年の増減理由
一般行政	計画	差引増減数		△1	—	△1	—	△2	
	実績	増減数		△2	△3	2	—	△3	
		職員数	68	66	63	65	65		
特別行政	計画	差引増減数		—	—	△1	—	△1	減員理由…業務委託（△1）
	実績	増減数		—	△1	△3	△1	△5	
		職員数	19	19	18	15	14		



社会参加と自立に向けて

みんなの夢が一歩前進

鮫川たんぽぽの家の「ドレッシングセット」がふくしま特産品コンクールで「大賞」を受賞



大賞を受賞した「ドレッシングセット」と調味味噌の詰め合わせ

財団法人物産プラザふくしま主催の「第三回ふくしま特産品コンクール」の審査会は十一月二十七日、福島市の福島グリーンパレスで行われ、知的障害者授産施設「鮫川たんぽぽの家」の「ドレッシングセット」が見事、食品部門で最高賞の大賞（県知事賞）を受賞しました。

同コンクールは、全国展開が可能な「ふくしま・ふるさと産品」の育成を目的に行われているもので、食品部門には県内各地から五十二点の応募がありました。

受賞したドレッシングセットは、和風じゅうねん、梅、たまりん（タマネギとリンゴ）の三種類の詰め合わせ。材料となるじゅうねん（エゴマ）や梅は、同施設や村内の農家で栽培しているものを使用しています。

施設通所者の保護者・松本アイさん（富田）は、「大賞に選ばれるなんてすごいですね。子どもたちの仕事に対する意



受賞を喜ぶ鮫川たんぽぽの家の皆さん

欲につながると思います」

また、同施設の江尻勝巳主任指導員は、「今後は全国規模のイベントなどにも通所者と一緒に参加しながら、商品の販売を通して社会に踏み出していきたいですね」と話しています。

商品に関する問い合わせは、鮫川たんぽぽの家☎49-2022まで。



商品づくりに励む通所者



12月11日、役場村長室で表彰状の伝達が行われました

1 NEWS 最優秀賞に矢吹さおりさん
第8回鮫川村少年主張大会



堂々と自分の意見を述べる出場者

村青少年健全育成推進協議会主催の「第八回鮫川村少年主張大会」は十一月二十二日、村公民館で開かれ、「平和を守っていくために」と題して意見を述べた矢吹さおりさん（鮫川中三年）が最優秀賞に輝きました。

大会には小・中・高校生合わせて九人が出場。少年犯罪や友情、学校生活や部活動から学んだことなど、日ごろ考えていることや訴えたいことを堂々と発表しました。

また、少年主張大会の審査中、音楽公演が行われ、村内小・中学校とコーラスさめがわによる合唱、青生野小校長の芳賀徳也先生の独唱が披露されました。

少年主張大会の成績は次のとおりです。

▼**最優秀賞**…矢吹さおり（鮫川中三年）▼**優秀賞**…有賀浩美（鮫川小六年）、須藤詩織（鮫川中一年）、笹島香奈子（東白川農商高鮫川分校二年）

※最優秀賞受賞作品は17ページに掲載しています。

2 NEWS 東石が6年連続8度目のV
第14回鮫川村民駅伝競走大会

雨天のため十二月七日に延期となった村体育協会主催の「第十四回鮫川村民駅伝競走大会」は、旧渡瀬小学校をスタート、役場前をゴールとする十区間、二十三・一キロのコースで行われました。

七つの地区体育協会から八チームが出場（西野は二チーム）。レースは序盤から西野Aと東石の争いとなり、後半の第九区でトップに立った東石が西野Aに三分近くの差をつけてゴール。見事、六年連続八度目の優勝を果たしました。

成績は次のとおりです。

▼**総合順位**　①東石（1時間30分7秒）②西野A（1時間33分4秒）③中野（1時間34分1秒）④西山⑤西野B⑥富田⑦青生野⑧渡瀬

▼**区間賞**　第1区…佐藤真基（西野A）第2区…矢吹彩（中野）第3区…下重佳美（渡瀬）第4区…矢吹博子（西野A）第5区…矢吹奈緒（東石）第6区…緑川勝寿（富田）第7区…大森達也（青生野）第8区…矢吹和浩（東石）第9区…円谷政隆（富田）第10区…清水拓美（東石）



旧渡瀬小をスタートする小学生男子


ゴールテープを切る東石チームアンカーの清水拓美さん

3 NEWS

赤ちゃんってかわいいね。

小学生思春期ふれあい体験学習



赤ちゃんとふれあう子どもたち

小学生思春期ふれあい体験学習は十一月二十五日、村保健センターで行われ、小学六年生が乳幼児とふれあいました。

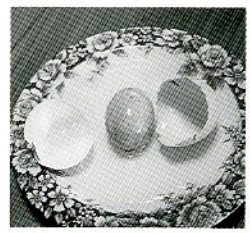
子育てについての寸劇を見たあと、赤ちゃんの人形を使って抱っこやおんぶ、オムツ交換などを練習。このあと五組の親子の協力を得て、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、遊ばせたりする「ふれあい体験」を行いました。

この体験学習は、十一月十九日に中学校でも行われました。

4 NEWS

大きな卵の中身は？

坂本圭司さん宅（富田）で珍事





写真右／卵を手にする坂本さん。右手が大きな卵
写真上／中にはもう一つの卵が入っていました

坂本圭司さん（富田字反田）の家のニワトリが重さ百五十㌘もある大きな卵（通常は五十㌘程度だそうです）を産みました。

「黄身が二つ入っているのだろう」と言いながら、坂本さんは卵を割ってみることに。すると、驚くことに中から卵がもう一つ出てきました。ちなみに、中に入っていたのは普通の卵でした。

「こんなことは初めて。珍しいこともあるもんだ」と坂本さんはニッコリ。

5 NEWS

年末年始を無事故で

交通安全テント村を宿ノ入地内で展開



事故防止を呼びかける関係者

交通安全協会鮫川支部と村交通対策協議会主催の「交通安全テント村」は十二月十日、赤坂中野字宿ノ入地内で繰り広げられました。

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動の一環として行われたもので、ドライバーに風船やチラシを配り、安全運転を呼びかけました。

なお、本村では十二月二十日現在で、交通死亡事故ゼロ日数が二千七百八日となっています。

6 NEWS

子どもたちに夢を

遠ケ竜地内にイルミネーションを設置



遠ケ竜地内に設置されたイルミネーション

遠ケ竜若衆会（森元良会長、会員十三人）では十二月十四日、赤坂東野字遠ケ竜地内の遠ケ竜ふれあい公園内にイルミネーション（電飾）を設置しました。

子どもたちに夢を与えようと平成九年から年末年始にかけて行っているもので、今年で七回目となります。

イルミネーションは、一月十七日までの期間中の毎日、午後五時から翌朝六時まで点灯する予定です。

村奨学基金の奨学生を募集します

募集

村教育委員会では、鮫川村奨学基金の奨学生を次により募集します。

募集期間　平成十六年三月一日(月)～三十一日(水)

応募資格　▼鮫川村に引き続き五年以上住んでいるか、住んでいたことがある方▼高等学校、高等専門学校および大学、短期大学などに在学または今春入学予定の方▼経済的理由により修学が困難と認められること▼国や他の団体から同種類の奨学金の貸与または給与を受けていないこと

貸与月額　▼高等学校・各種学校（一～三年）…二万円以内▼高等専門学校…三万五千円以内。ただし、第三学年までは二万円以内▼大学・短期大学…三万五千円以内

貸与始期・期間　平成十六年四月から、在学する学校の正規の修学期間

奨学金の償還　貸与は無利子で、卒業後六カ月から毎月、十年以内に償還すること（全部または一部を一時償還することができます）

奨学生の決定　選考委員会で願書の内容を審査し、奨学生を決定します。

申し込み・問い合わせ
村教育委員会教育課教育総務係☎４９－３１５１

もうすぐ1年生

平成16年４月に小学校入学予定の児童は、平成９年４月２日から平成10年４月１日までに生まれたお子さんです。

平成15年12月１日現在の調べで、入学予定の児童は次の38人です。名前が間違っていたり、漏れていましたら、１月26日(月)までに村教育委員会教育課教育総務係（☎49-3151）にご連絡ください。

平成16年度新入学予定児童

（　）は保護者・敬称略

▶**青生野小（５人）**…長久保直人（仁一）山形美貴（美好）棚井隆毅（正治）金田優太（十一）藤田潤也（孝之）

▶**鮫川小（33人）**…陣野原一声（裕二）清水駿介（国明）円井恵理香（一三）関根清人（清）阿久津翠季（栄二）松崎比呂人（義安）遠藤勇人（幹一）土手内麻由（吉美）鈴木伽奈（孝宏）下重なぎさ（正人）山形大輝（和幸）蛭田みな美（宏）須藤真夏（功）青戸栞那（広行）山本雄大（寿夫）齋藤遥（利己）円谷幸子（さゆり）芳賀悠介（正樹）芳賀美咲（弘幸）藤田健斗（美光）蛭田朋也（保志）鈴木雄斗（芳男）飯島夢香（滋雄）鈴木圭介（正人）白坂真実（雅彦）矢吹將晃（正生）髙野円香（淳一）関根成人（裕治）羽田優希（孝雄）辰巳屋寛樹（幸枝）蛭田直道（泉）岡部望弥（満）大森寛之（良幸）

平和を守っていくために

矢吹さおりさん
鮫川中学校３年。赤坂西野字塩倉在住。


戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えた矢吹さん

最優秀賞受賞作品

自分にとって、世界にとっての平和とはいったいなんだろう。そんなことを考えたことはありますか。

私は、戦争のためにお金や食糧がなくなったり、空からの空襲で家を失い、途方にくれるという危機にさらされたこともありません。でも、戦争は人々を悲劇のどん底に追いやり、明日への希望までも奪ってしまう最悪なものだと実感したのは、修学旅行で沖縄の平和記念資料館を訪れたことがきっかけでした。

私はそこで、自分が戦争に対してどんなに甘く考えていたのかを改めて知り、絶句しました。今の、この平和な暮らしからはとても予想もつかないもので、本当に顔や体が硬直するほどでした。実際に沖縄で激しい地上戦が行われていたことも知らなかった私は、何万人という死者、傷者が出て、明日がどうなるか分からない状態なのに、それでも必死に生きようとしていた人がいたという事実を知り、あまりにも残酷で言葉を失いました。私は、今までを何も知らずに暮らしてきたようで、戦争をどこか人ごとのように考えていたような自分に怒りがこみ上げ、同時に大きなショックをうけました。

私は時々、自分だけ損をしている気持ちになることがあります。でも、こんな悲しい出来事が起きていたことを知った今、自分がどんなに幸せなのかが身にしみて感じることができました。私は沖縄を訪れ、どんなことがあっても明るく生きるということまでも教えてもらったような気がします。

そもそも、どうして人間は、戦争をするのでしょう。どうして悲惨な戦争が歴史上にくり返されるのでしょう。それは、相手国の領地を得て、豊かな国をつくるため。

しかし、結局は豊かな国にはならず、相手国を傷つけ、自分の国も合わせ、多くの人々が同じ悲しい思いを持つことになってしまうのです。

時代が流れ、いくら世の中が変わっても、人は誰でも平和を求めていると思います。しかし、そこに何でも手に入れたいという欲が加わって、戦争を甘く見てしまうのではないでしょうか。

世界はまだ、さまざまな問題を抱えています。だからといって、人々が悲しむような方法で、力まかせに解決しようとすることは絶対に許される行為ではありません。その間違った行為のために、世界中のどれだけの人が悲しみ、どれだけの人が自由を奪われるでしょう。人間だけではありません。自然も、動物も、世界中のものすべてが崩れてしまうのです。

日本は、あの恐ろしい原子爆弾が落とされた、世界唯一の被爆国です。私達日本人には、「日本」に生まれた人間としての使命があると思います。原子爆弾では、数百人の人間が一瞬のうちに空中に消えたといいます。他の国とはちがう痛みを味わっている私達日本人は、世界に核戦争の残酷さを伝えなければなりません。なぜなら、これから起こる戦争は、すべてが核戦争かもしれないと言われているからです。一瞬ですべてを果てさせる核爆弾が投下される戦争なんて、考えただけでも恐ろしいのですから。

私達のこれからの課題。それは、一人一人が平和であることを当たり前とせず、積極的に平和を守っていこうとすることだと思います。

過去に戦争があったことをしっかり受け止め、戦争の悲惨さを声に出して訴えていくことです。私達の祖父母の世代は、戦争を体験した貴重な人達です。その祖父母の体験したことをじっくり聞いて、心で受け止めるべきだと思います。そして、その話を私達の子供たちにしっかり語っていかなければなりません。

私達の子孫が二度と戦争というあやまちをくり返さないために。そして、平和が永遠であるために・・・。

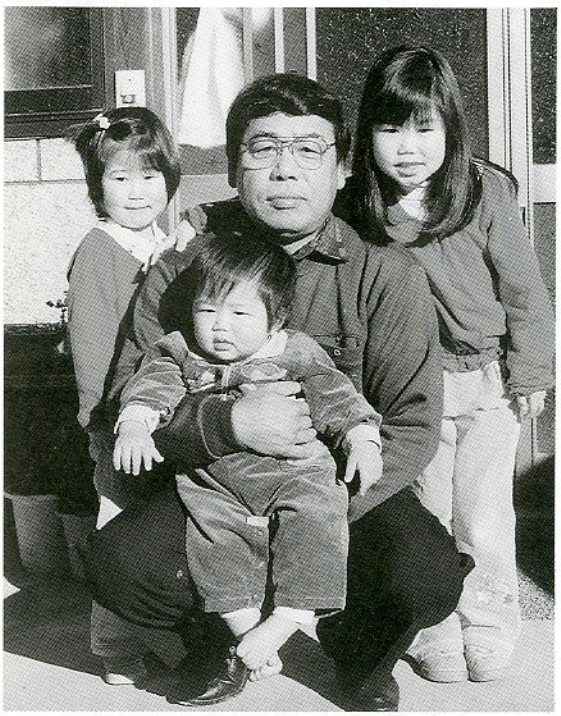
村民の皆さんが作るコーナーです。

みんなのページ

岡部啓一さん

k e i i c h i　O K A B E

おかべ・けいいち●昭和22年７月生まれ。赤坂西野字大塩在住。近津郵便局（棚倉町）勤務。趣味は農業。「ストレス解消にはサウナが最高だよ」と話す。



村民［随想］リレー ㊻

今後はスローフードで

緑多い鮫川に生まれ、年月の経つのは早いもので五十六を数える年齢となりました。

戦後の昭和二十年代、何もない時代に、もち米やさつま芋で水飴を作って甘いものを食べさせたと親には聞いています。物心がついたころには、山でグミや桑の実、秋にはあけびなどを食べたことを思い出します。

高校を卒業後、家業の農業で生計を立てようと、六年ほど専業農家として頑張ってきましたが、時代の流れもあり、私は郵便局に奉職することになりました。それから三十数年、現在に至っています。

定年も数年後に迫る今日、今までのことを振り返ってみると、特に趣味もなく、スポーツもせず、ただ忙しく過ごしてきました。今回の広報リレーが私に回り、思いがけなくこれから先のことを考えるよい機会となりました。

我が家も孫三人となり、四世代九人家族で毎日にぎやかに過ごしています。今後は鮫川の良さを再認識して、何か趣味も見つけて他の人と交流もしたいし、また、この地域に合った作物を栽培して、私のモットーである「スローライフ、スローフード」で生きていきたいと思います。

次は、前田信子さん（赤坂東野字官代）にバトンタッチ！

俳句

軽鴨の鳴く川岸や草紅葉　金沢　暁舟
一掬の無駄となる秋の水　中井　恒峯
落穂拾い戦後の食を語る時　矢部　正子
南天赤く雪来る日々ももう間近　山本　朗史
小雨降る庭の裸木さびしそう　鈴木　友蔵
スカート丈短かすぎです今日の冷え　斉須　信子
実のない稲雨に打たれてうつむけり　小山田清哲
一族が法事に集う菊日和　黒田　寿香
猫の手も借りたき秋を雨続き　北條素人坂
帰国者ののぞみは遠し秋更ける　松本　精一
若人に光あれかし初日影　前田　縫子
秋の空いもがらをむく老夫婦　小松ハルエ
ずっとこのままでいたいね銀杏黄葉　鈴木　米子
秋めきてストレス今日も纏いけり　山本　恵子
透明な秋にならんと水走る　山本五十鈴

短歌

初対面の歌友と共にす十年の知己の如くに親しみており　蛭田　光江
冬を咲く蒲公英二つ花寄せて支え合うがの野を帰り来ぬ　坂本　雪絵
落葉掻く土手に芽生えし水仙の未だ早いよと土寄せてやる　森　芳子
新しき首長に代わり明るさを戻す村なり未来も見えて　前田　初
拉致工作北の方途は社会主義の歪みの果てを思わせており　蛭田　浩市
豊かなる田園の中に転作の蕎麦あり花の白じろと咲く　大平　太平
凛として侘助は咲く霜の朝斯く

情報の泉

わくわく

WAKU－WAKU

各種表彰

▶東北管区警察局長・東北交通安全協会長連名表彰…森正紀さん(赤坂東野)＝交通安全功労者**▶全日本交通安全協会長表彰**…矢吹ヨシイさん(赤坂東野)＝優良運転者**▶福島県警察本部長・福島県交通安全協会長連名表彰**…鈴木新市さん(赤坂西野)、水野さち子さん(赤坂西野)＝優良運転者**▶第６回交通安全東白川地方大会表彰**…本郷良光さん(西山)＝交通安全功労者／青生野小学校＝交通安全優良校／鮫川村交通安全母の会＝交通安全優良団体／有限会社藤運輸＝交通安全優良事業所／國井康典さん(東西しらかわ農協鮫川支店)＝優良安全運転管理者**▶平成15年度中学生の税に関する作文コンクール**…矢吹さおりさん(鮫川中３年)＝県南地方振興局長賞**▶平成15年度火災予防絵画・ポスターコンクール**…矢吹さおりさん(鮫川中３年)＝白河地方広域消防本部消防長表彰(金賞)・福島県優秀賞／蛭田康暉さん(鮫川小４年)＝白河地方広域消防本部消防長表彰(金賞)／蛭田拓弥さん(鮫川小２年)＝白河地方広域消防本部消防長表彰(銀賞)**▶福島県ＰＴＡ連合会表彰**…阿久津光市さん(西山)＝功労賞

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。詳しくは総務課広報担当まで。



役場放送室でマイクに向かう石井さん

話題

午後４時になりました…
冬休みの「声」は石井歩さん（青生野小）

「児童生徒の皆さん、午後四時になりました。交通事故に気をつけて、家に帰りましょう」

冬休み期間中の夕方四時に流れる防災無線の放送をご存じですか。

今年度の冬休みの「声」を担当したのは、青生野小六年の石井歩さんです。

十二月十八日、役場放送室で声の録音を行った石井さんは、「明るい声で話すことを心がけました」と、笑顔で話してくれました。

生きようとも云うが如くに　常夫
五時の海水平線の燃ゆるごと　芳賀
来光あり歓声あがる　根本　恵智
孫三人に囲まれ過ごす賑やかさ　冬の寒さも覚えぬ程に　鈴木イミ子
師の君の「花街道」を読みており　心尽くしの文字花に見ゆ　関根　瑞恵
白菜と大根の太る年となる冷夏　のあとの野菜みな良し　本郷　松子
植え替えて葱の保存す深々と　藁を掛けやる明日は雪らし　関根　貞子
採り残す南瓜の一つ何やらが爪　痕つけし傷赤く見ゆ　中川西美好
親の意見届かぬ儘の成長は危う　かりけり子弟に見えて　齋藤　平四
わが里に昔を偲ぶ屋号ありその　名も床し茶屋と呼ばれて　松本　一郎
腕枕炬燵に窓を眺めれば日暮の　秋空飛行雲引く　赤坂　朝子
小学生集いて担ぐ村祭り少子化　の神輿は何か侘しも　北條　平
東大寺柱くぐりは無理でした昔　は出来て喜びたるに　前田喜三子
わが庭を黄に染め咲きし菊の花　朝毎の霜に色褪せてゆく　田中　志乃
散り敷ける銀杏の葉や紅葉ばは　具象の絵画と庭を彩る　杉山　磯子
健康の検診結果異状なく美味し　そうに呑む夫のコップ酒　鈴木　クニ
あの君もまたあの友も思い出を　残して朱線引きゆく名簿　叭
生前に夫の植えたる金木犀見事　に咲きて香り漂う　岡部　シゲ
暗やみの宇宙の果てに華麗なる　火星の輝き今生見納め　鷺野谷　満

スポーツ

村親善インディアカ大会参加チーム募集

村体育協会では、「第5回鮫川村親善インディアカ大会」の参加チームを募集しています。

日時 平成16年2月1日（日）午前9時開会、10時競技開始

場所 農業者トレーニングセンター

競技部門 ▼男女混成の部▼ファミリーの部

参加資格 ▼村内在住または勤務者▼村内のスポーツチームに所属し、村体育協会に加入する村外在住者▼小学生（おおむね4年生以上）

注意 ▼男女混成の部は、ゲーム中に女子が必ず2名出場すること▼ファミリーの部はゲーム中、常に親または大人（中学生以上）と小学生（2名以上）が一緒に出場すること

参加費 1チーム 1、000円

募集期限 平成16年1月23日（金）

■**申し込み・問い合わせ** 村体育協会事務局（農業者トレーニングセンター内）☎49-3295

年金

国民年金保険料は控除の対象になります

確定申告の時期になりました。平成15年1月から12月までに納めた国民年金の保険料は「社会保険料控除」として全額が所得から控除されます。

申告できるのは、平成15年分の保険料のほか、過去の期間で未納や免除を受けていた場合も含めて、平成15年中に納めた全部の保険料納付額が控除の対象となります。

源泉徴収票が送付されます

国民年金や厚生年金保険などから老齢または退職を支給事由とする年金（老齢給付）を受けている方には、1月末ごろまでに社会保険庁から源泉徴収票が送付されます。

この源泉徴収票には、平成15年2月から平成16年1月までに支払われた年金額と、年金から差し引かれた税金や介護保険料額などが記載されています。

複数の年金の支給を受けている方や年金以外に所得がある方は、確定申告が必要です。2月初旬になっても源泉徴収票が届かない場合は、社会保険事務局にご連絡ください。

なお、障害年金や遺族年金を受けている方には送付されません。

■**年金に関する問い合わせ** 福島社会保険事務局白河事務所☎02 48-27-4164、村住民福祉課住民係☎49-3112

農業委員会から

農業委員会委員選挙人名簿登載申請

農業委員会では、毎年1月1日現在で農業委員会委員の選挙人名簿登載申請を受け、その資格を審査し、村選挙管理委員会に提出しています。

名簿登載申請書を基に「農業委員会委員選挙人名簿」を作成しますので、次の「選挙権を有する資格要件」を参考にもれなく記入し、組長さんを通じ農業委員会事務局に提出してください。

選挙権を有する資格要件

①年齢…平成16年1月1日現在、鮫川村に住所があり、平成16年3月31日までに満20歳に達する方（昭和59年4月1日以前に生まれた方）

②経営耕地面積…10アール以上の農地を耕作している方とその配偶者および同居親族

③農業従事日数…年間おおむね60日以上耕作に従事する方

提出期限 組長さんは平成16年1月7日（水）までに各区長さんへ、区長さんは1月9日（金）までに村農業委員会事務局へ提出してください。

■**問い合わせ** 村農業委員会事務局☎49-3197

役場の電話番号
0247-49-3111（代表）

ファクシミリ 49-2651
ホームページ
http://samegawa.site.ne.jp/
携帯電話向けホームページ
http://samegawa.site.ne.jp/k/

【直通電話番号】

総務課	49-3111
住民福祉課	49-3112
	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
建設課	49-3116
環境衛生課	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
公民館	49-2247
歴史民俗資料館	49-3106
農業者トレーニングセンター	49-3295
鮫川幼稚園	49-2358
学校給食センター	49-2113
鮫川保育所	49-2056
渡瀬保育所	48-2050
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555

1月11日(日)
第56回鮫川村成人式



昨年の成人式

日時　平成16年1月11日(日)午前10時30分開式
場所　村公民館 大集会室
■**問い合わせ**　村教育委員会教育課生涯学習係☎49-2247、49-3151

福島県学生寮
平成16年度入寮者募集

財団法人福島県学生寮では、平成16年度の入寮者を募集しています。
学生寮の所在地　①男子寮(定員95名)…千葉県松戸市松戸638-4、②女子寮(定員50名)…東京都渋谷区幡ヶ谷3-72-9
募集人員　男子25名・女子15名程度
受付期間　平成16年1月23日(金)まで
入寮時期　平成16年4月1日(木)～4月10日(土)
入寮期間　2年間（正規の修業期間を限度として更新を認めます）
■**申し込み・問い合わせ**　財団法人福島県学生寮事務局（県教育庁教育指導領域内）☎024-521-7775

精神保健福祉ボランティア
講座参加者募集

日時・主な内容　▶第1日目…平成16年1月21日(水)午後1時30分～4時・開講式、講演「統合失調症についての理解」（講師：医療法人公翁会千葉医院 千葉忠吉院長）▶第2日目…1月23日(金)午後1時30分～4時・講話「精神障害者との接し方」（講師：県立矢吹病院 小野寺浩主任心理判定員）、小規模作業所見学▶第3日目…2月5日(木)午後1時～3時・精神保健福祉ボランティア活動の体験、意見交換、閉講式
場所　県南保健福祉事務所（白河市郭内127）
対象　県南地区在住で、精神保健福祉に関心があり、精神障害者への支援などのボランティア活動を希望する方。また、原則として3日間受講できる方
定員　20名程度（先着順）
募集締切　平成16年1月14日（水）
■**申し込み・問い合わせ**　県南保健福祉事務所 障害者支援チーム☎0248-22-5649

障害者に対する
携帯電話基本使用料等の
割引サービス

株式会社ＮＴＴドコモ、ＫＤＤＩ株式会社、ボーダフォン株式会社、ツーカーグループ3社〔(株)ツーカーセルラー東京、(株)ツーカーホン関西、(株)ツーカーセルラー東海〕では、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している障害者に対し、携帯電話基本使用料、通話料などの割引サービスを実施しています。

申し込み方法などの詳しい内容については、各社携帯電話取扱店などにお問い合わせください。

文／村住民福祉課健康係　村山通子保健師

禁煙の準備を始めませんか

新春を迎え、今年こそは旅行をしたい、スタイルをよくしたい、タバコをやめたいなど、いろんな目標があると思います。特に喫煙は、「やめようと思うけど、やめられない」という声が多く聞かれ、約8割の人は、やめたいと思っているようです。

■**喫煙による影響**

肺は、吸い込んだ空気の中から体に必要な酸素を取り込む働きをしています。しかし、長期間喫煙すると肺が汚れ、酸素をうまく取り込めず、呼吸が苦しいなど、さまざまな症状や病気を引き起こします。

①がんや心臓病になりやすい（肺・咽頭・喉頭がんなどの死亡率が高い）。
②低体重児出生や乳幼児突然死症候群との関連がある。
③口臭、肌荒れ、スタミナ切れなどの症状が起こる。
④タバコ1本で5分30秒の寿命が短縮される。

■**周囲の人たちへの影響**

タバコの先から出る煙（副流煙）は、直接タバコから吸い込む煙（主流煙）より有害物質（ベルゾピレン）が多く、副流煙を日常的に吸い込む人は、目の痛み、くしゃみ、頭痛のほか、ぜんそくや肺がんなどにかかりやすくなります。

■**禁煙ができにくい理由と対処**

タバコをやめられないのは、意志が弱いからだけではありません。その理由には、身体的依存と心理的依存の2つの原因があります。

①身体的依存（ニコチン依存）

タバコを吸うとニコチンは急速に体に吸収され、3秒後に脳に達し、脳内ホルモンの代わりに脳細胞を刺激します。それが長年繰り返されると脳内ホルモンをつくる力が衰え、ニコチンが切れると正常な脳の働きが崩れ、ニコチンの刺激を待つようになります。この状態をニコチン依存といいます。この対処法としてニコチンの代替療法がお勧めで、ニコチンガムやニコチンパッチなどがあります。薬局、病院などで取り扱っている所がありますのでお尋ねください。

②心理的依存

以前にタバコを吸ったらよかったという記憶や身についた癖など、習慣的に吸いたくなる状態を心理的依存といいます。心理的なものについては、禁煙する意志や禁煙を続ける意志が必要になります。禁煙仲間や家族、友人などの周囲の励ましが大切です。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介

※図書館改築工事のため、図書館業務は歴史民俗資料館で行っています。



でこちゃん（つちだのぶこ作、ＰＨＰ研究所）…「でこちゃん」のほんとうのなまえは「てこちゃん」。でも、かみをきって、みんなに「でこちゃん」とひやかされます。



神仏信仰事典シリーズ・八幡信仰事典（中野幡能編、戎光祥出版）…八幡信仰入門、目で見る八幡信仰、全国各地の八幡神像・縁起絵など、多数の写真・図版で解説する総合辞典。シリーズで熊野三山信仰事典もあります。

火	水	木	金	土
		1/1 元旦 ㊡おおひら整形外科（棚倉町）☎33-9468 ●図書館（資料館）休館日	**2** ㊡杉山胃腸科外科皮膚科（棚倉町）☎33-7551 車田病院（塙町）☎43-1019 ●図書館（資料館）休館日	**3** ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 ●図書館（資料館）休館日
6 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**7** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**8** ●栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 中沢公民館 ●幼稚園、小・中学校第３学期始業式	**9** ●栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 鍬木田・反田集会所 ●保健センター開放日（らっこくらぶ）…10:00～15:00[保]	**10**
13 ●図書館（資料館）休館日 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**14** ●社会復帰支援事業（やまぶきの会）…10:00～14:00[保]	**15** ●リハビリ教室…10:00～15:00[保] ●保育所開放日（鮫川・渡瀬） ●幼稚園保育参観日	**16** ●栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 石井草集会所	**17**
20 ●栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 中の沢集落センター ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●農業委員会総会	**21** ●栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 東石区集落センター ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**22** ●さくらんぼ教室…9:30～11:30[保]	**23** ●栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 戸草多目的集会所	**24**
27 ●リハビリ教室…10:00～15:00[保]	**28** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**29** ●１歳６か月児・３歳児健診…13:15～[保]	**30** ●栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 東野集会所	**31** ●チャレンジスクール⑦…会津方面
3 ●栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 江竜田公民館 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**4** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●青生野小一日入学	**5** ●栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 渡瀬区集落センター	**6** ●栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 福原集会所	**7**

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［保］＝保健センター　［資］＝歴史民俗資料館　［トレセン］＝農業者トレーニングセンター　［ほ］＝ほっとはうす・さめがわ

●お誕生　11月届け出分・敬称略



森（もり）　光（ひかる）・男
平15.11. 7生
住所…遠ケ竜
保護者…栄樹・ワサナ



前田（まえだ）　慧叶（けいと）・女
平15.11. 9生
住所…官代
保護者…章・祐子



鈴木（すずき）　功汐（こうせ）・男
平15.11.11生
住所…水口
保護者…功介・さゆり



山形（やまがた）　祐貴（ひろき）・男
平15.11.13生
住所…青生野
保護者…美好・弘美

●おくやみ　11月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
大平	本郷　良勝	11. 9	62歳
戸草	芳賀トキ子	11.12	73歳
西前田	金澤ツネヨ	11.17	78歳

●人の動き　12/1現在・（　）は前月比

人口	4,635人（－2）
男	2,295人（＋2）
女	2,340人（－4）
世帯	1,116戸（＋1）

●寄付　11月受理分・敬称略

■社会福祉事業のために（金員）…本郷ヒロノ（大平）金澤満（西前田）村ふる里文化芸能クラブ（矢吹一二代表）かぼちゃ美人の会（鈴木リキヰ会長）

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●訂正とおわび

本誌12月号5ページ中、写真説明の中で「母・美久さん」とあるのは「母・美之さん」の誤りでした。ここに訂正し、謹んでおわび申し上げます。

●編/集/後/記

■新年あけましておめでとうございます。今年も「広報さめがわ」をよろしくお願いいたします。■さて、今年は申（さる）年。長引く経済不況が日本から「去る」ことを願いつつ、２００４年最初の編集後記にしたいと思います。　（舟木）

1 生/活/情/報/カ/レ/ン/ダ/ー/ 月1日～2月7日

日	月
4 ㊡勝田医院（棚倉町）☎33-3008 木村医院（矢祭町）☎46-3528 中島病院（石川町）☎26-3415 ●消防団出初め式 ●図書館（資料館）休館日	**5** ●役場仕事始め ●図書館（資料館）休館日
11 ㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424 塙厚生病院（塙町）☎43-1145 中島病院（石川町）☎26-3415 ●第56回鮫川村成人式…10:30～[公]	**12** 成人の日 ㊡東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263 石川医院（塙町）☎43-0003 ●図書館（資料館）休館日
18 ㊡藤田医院（棚倉町）☎33-2013 東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 中島病院（石川町）☎26-3415	**19** ●図書館（資料館）休館日 ●４か月児・10か月児健診…13:30～塙厚生病院 ●保健センター開放日（らっこくらぶ）…10:00～15:00[保]
25 ㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 中島医院（塙町）☎43-0373 中島病院（石川町）☎26-3415 ●文化財防火デー・火災防御訓練…9:30～青生野地内 ●子育てサポーター養成研修会…13:30～16:00[公]	**26** ●図書館（資料館）休館日
2/1 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 木村医院（矢祭町）☎46-3528 ●第５回鮫川村親善インディアカ大会…[トレセン]	**2** ●栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 関口集会所 ●図書館（資料館）休館日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

半世紀の
絆
KIZUNA



社会的には定年だけど、やりたいことはまだまだいっぱいあるよ。

遠藤愼一郎さん[75歳]・**美智子**さん[70歳]　渡瀬字上耕地在住・昭和28年１月結婚

私たちは、お見合いしてから一年間の交際を経て結婚したんだよ。交際期間中は自転車でデート。矢祭山に紅葉を見に出かけたり、棚倉町に桜を見に行ったりしたね。

現在の楽しみは、年に一度の二人旅。また、牡丹やバラ、サツキなどを二人で一緒に育てているんだ。それから、大豆を栽培して自家製味噌も作っている。これは、農家の伝統行事として守っていきたいね。これからは、自然食品を見直すことが大切になると思うよ。

金婚まで健康で過ごせたことが最大の喜び。社会的には定年だけど、やりたいことは、まだまだいっぱいあるよ。［談］



花木の手入れが二人の趣味

金婚夫婦に50年を振り返っていただくコーナーです。

広報さめがわ
No.597［平成16年１月１日発行］
発行／福島県鮫川村　編集／総務課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５
TEL 0247-49-3111　FAX 0247-49-2651